

## 関係機関・団体からの提案事業及び令和2年度計画（案）への反映について

## 1 事業提案募集方法

## (1) 募集期間

令和元年8月8日から9月13日まで

## (2) 照会先

県内病院、医療関係機関、及び市町村

## (3) 対象事業

Ⅰ 病床の機能分化・連携のために必要な事業

Ⅱ 在宅医療を推進するための事業

Ⅲ 医療従事者等の確保・養成のための事業

## (4) 募集要件等

- ① 県全域又は地域の医療課題の解決に資する事業であること。
- ② 計画に反映可能な、具体性、実現性などを備えていること。
- ③ 青森県保健医療計画（平成30年4月）と整合していること。
- ④ 事業実施後において、目標の達成状況について評価できること。
- ⑤ すでに診療報酬や他の補助金等で措置されているものは対象としないこと。
- ⑥ 既存の事業で、単に事業者の負担を基金に振り替えるものは対象としないこと。
- ⑦ 事業に対する基金充当割合については、従来の補助事業等を踏まえ、事業者に一定の負担を求めることを想定していること。
- ⑧ 病床の機能分化・連携のために必要な事業においては、地域医療構想の実現に資する事業であること。

## 2 事業提案の状況

12機関から、18件の提案があり。

## 3 令和2年度計画（案）への反映について

右表のとおり。

なお、計画（案）へ反映できなかった理由の主な理由は次のとおりである。

- ・ 個別の医療機関や限定された地域を対象とする事業であり、地域への波及という観点で効果が限定的であるもの
- ・ 他の制度、既存の他の事業で実施可能であるものなど基金対象事業に該当しないもの

事業区分	提案 事業数	計画（案）への反映状況	
Ⅰ 病床の機能分 化・連携のた めに必要な事 業	7	反映するもの	5
		一部反映するもの	
		趣旨を反映するもの	
		反映しないもの	2
		効果が限定的	
		その他（対象外、優先度等）	
Ⅱ 在宅医療の充 実のために必 要な事業	4	反映するもの	3
		一部反映するもの	1
		趣旨を反映するもの	
		反映しないもの	
		効果が限定的	
		その他（対象外、優先度等）	
Ⅲ 医療従事者等 の確保・養成 のための事業	7	反映するもの	3
		一部反映するもの	
		趣旨を反映するもの	1
		反映しないもの	3
		効果が限定的	
		その他（対象外、優先度等）	
計	18	反映するもの	11
		一部反映するもの	1
		趣旨を反映するもの	1
		反映しないもの	5
		効果が限定的	
		その他（対象外、優先度等）	5

令和2年度県計画に係る事業提案一覧

区分	No.	提案機関	事業名	事業概要	計画(案)への反映	
					反映状況	判断理由
I	1	弘前市立病院	【新規】 運営主体が異なる病院統合促進事業	地域医療構想に基づく病院統合案が示された平成28年度を基準とし、医師1人1日当たりの入院収益の減収分のうち、年延医師数が減少した分の影響額の2分の1を補助する。 (常勤医師が減ったことによる、減収分を補填する。)	反映しない	個別の病院に対する経営支援は、基金の趣旨に合致しないため、計画案に反映しない。
	2	青森労災病院	【新規】 地域におけるがん医療体制充実に係る機器整備事業	現行のリニアックにVMAT機能を追加する。 リニアック(直線加速器):放射線治療を行う医療機器 VMAT:放射線の量、強度を変化させる機能	反映しない	国の標準事業例において、がんの医療体制強化に向けた施設・設備整備は、がん連携拠点病院が存在しない地域のみにおいて、採択が可能とされているため、計画案に反映しない。
	3	青森県医師会	医療介護連携促進事業	①かかりつけ医のための在宅医療研修会の開催 ・かかりつけ医機能強化と在宅医療を目指す医師のための研修 ②多職種連携のための在宅医療研修会の開催 ・在宅医療に関わる多職種を対象とした研修会の開催(県内6医療圏) ③在宅医療資源マップ ・在宅医療連携拠点事業により構築した各地域の資源マップの維持と管理	反映する (継続)	在宅医療及び医療介護連携に係る研修の事業であり、継続実施することとして計画案に反映する。
	4	全日病青森	病床の機能分化・連携を推進するための事業	①病床の機能分化・連携の現状に対する報告・講演会ならびに在宅医療推進に向けた専門職の質の向上を目的としたスキルアップ研修の実施。 ②介護医療院開設に向け取り組んでいる病院、診療所の事業者による講演会を実施。	反映する (継続)	既存の病床機能転換人材確保事業(専門研修)で対応可能であり、継続実施することとして計画案に反映する。
	5	県看護協会	病院からつなぐ地域包括ケア看護実践者育成事業	地域完結型志向の医療提供に必要な知識・技術を習得するための系統的なプログラムによる研修を実施	反映する (継続)	既存の病床機能転換人材確保事業(専門研修)で対応可能であり、継続実施することとして計画案に反映する。
	6	弘前市	国立弘前病院と弘前市立病院の統合による新中核病院整備事業	青森県地域医療構想を踏まえ、国立病院機構が主体となり、国立病院機構弘前病院の敷地に新中核病院を整備し、運営する。 弘前市は新中核病院の整備費の一部を負担する。 新中核病院整備費:約126億円(うち弘前市負担額:40億円)	反映する (新規)	新中核病院整備費に対し、2か年で30億円拠出することとして計画案に反映する。(弘前市の負担は40億円から20億円となる。)

区分	No.	提案機関	事業名	事業概要	計画(案)への反映	
					反映状況	判断理由
I	7	弘前市医師会	【新規】在宅医療・介護連携支援整備事業	弘前市医師会が中心となり、近隣市町村の医療機関、訪問看護事業所、薬局、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター各事業所がメディカルケアステーションを利用した多職種による在宅医療・介護の連携強化に向けた体制づくりを行い、併せて、地域住民への啓発活動に取り組む。	反映する (新規)	地域として在宅医療・介護連携の強化に向けた新たな仕組みづくりを推進するものであり、多職種研修事業の中で実施することとして計画案に反映する。
II	8	青森市医師会	【新規】在宅医療支援のための看取りサポート事業	①看取りサポートチームの説明会(1回) 医師、多職種や訪問看護、介護老人保健施設等の職員で連絡体制を共有し、運用できるように説明会を行う。 ②看取りサポートに関する講演会(2回) 当該事業を実際に行っている地区から講師を招き、課題や成果についての情報を得て、運用に生かせるようにする。(例:診療報酬について、死亡診断書について等)	反映する (新規)	在宅医療に係る研修の事業であり、継続実施することとして計画案に反映する。
	9	八戸市医師会	地域でできる在宅医療と見取り研修	看取りに関する研修会の開催 ① 冊子とe-learningを用いた事前学習 ② VRを用いた認知症発症と救急搬送による看取りの体験 ③ その症例が施設で看取りまで行った場合の疑似体験 ④ Reconnectが行う事例検討会・研修会やそのアーカイブコンテンツによる継続学習機会の提供 ⑤ connet8のICT連携による連携・交流および経験共有体制の提供 ⑥ 施設経営者・管理者と共にICTを活用して行う事後フォローを通じて、実際に研修会のあとに施設において医療と介護の連携のもとに看取りまでのケアを行う体制づくりの確立を、研修を受けた施設に対しサポートする研修プログラムを提供する。 さらに②と③にあたる集合研修をそれぞれの地域で行うことができる講師を養成することにより、今後県内全域で継続的に行うことを可能にする(前年度受講者の中からファシリテーター、コーディネーターとして参加者を募る)。年5回の研修会を行い、対象者に研修を行いながら、A.受講者、B.ファシリテーター、C.コーディネーターと段階的に行うことができるように指導し、その後各地で同様の研修及び講師養成を継続していただく。	反映する (継続)	在宅医療に係る研修の事業であり、継続実施することとして計画案に反映する。

区分	No.	提案機関	事業名	事業概要	計画(案)への反映	
					反映状況	判断理由
Ⅱ	10	県看護協会	【新規】 青森県訪問看護総合支援センター設置事業	訪問看護人材の量的・質的確保、そのための安定した処遇確保、業務効率による労働生産性の向上及び、安定的な経営基盤の強化等を総合的に支援する「訪問看護総合支援センター(仮称)」を開設する。  事業内容 ①準備委員会・運営委員会の設置・運営 ②他県視察及び研修 ③実態調査 ④訪問看護師育成支援のための研修会実施 ⑤広報 ⑥支援センター運営に関する人材の確保・育成 ⑦支援センター開設	一部、反映する	センターの設置・運営経費については、全日病青森、青森県医師会へ委託している内容と重複しているため、計画案に反映しない。 なお、実態調査については、前回実施から数年経過しており、また調査対象範囲を拡充することであるので、必要性を認め、計画案に反映する。
	11	県理学療法士会	リハビリテーション専門職に対する吸引法及び排痰法研修会	対象者は、県内にある病院・介護保険事業所(介護老人保健施設、訪問リハビリテーション事業所等)に勤務するリハビリテーション専門職(PT・OT・ST)とし、実施内容は、現場で実施している理学療法士から専門職に対し、講義を通して気道クリアランスに必要な解剖学的知識を向上させ、様々な実技で、より実践的なものにする。 【1】在宅医療における吸引法 【2】在宅医療における呼吸リハビリテーション 【3】在宅医療における緊急対応 ～一次救命処置～ 【4】機器の取り扱い(リスク管理等)	反映する(継続)	在宅医療に係る研修の事業であり、継続実施することとして計画案に反映する。
Ⅲ	12	弘前大学医学部附属病院	【新規】 青い森JRATリハビリテーション整備事業	①災害時の生活不活発病予防を目的とした被災者支援が行えるよう、リハビリテーション医療に関わる医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、看護師、その他の医療・福祉関係従事者を対象とし、研修会、講演会、災害時シミュレーション(REHUG)を開催し、専門的知識・技能を有する医療従事者を養成する。 ②災害発生時において、速やかに被災地での活動が行うことができるよう、医療機関や福祉施設への協力依頼を行い、医療従事者の登録制度を整備する。 ③身近な食品を材料とした嚥下食メニューの開発を行い、食材や調理法を掲載した冊子を作成し、福祉施設や避難所に配布する。	反映しない	災害時の被災者支援に資する事業であるが、基金事業の趣旨に合致しないため、計画案に反映しない。

区分	No.	提案機関	事業名	事業概要	計画(案)への反映	
					反映状況	判断理由
Ⅲ	13	青森労災病院	【新規】 看護職員の資質を向上を図るための研修事業	現在、看護師への教育の一環として、携帯電話端末サービスを契約し、各病棟でタブレット端末を使用し、看護技術に関するeラーニングを実施しているが、受講者が集中すると利用速度低下等のトラブルが発生し、参加率の低下の原因となっているため、各病棟にオンライン機能を整備する。	反映しない	看護職員の資質向上に資する事業であるものの、院内の配線工事のみの事業であり、基金の趣旨に合致しないため、計画案に反映しない。
	14	弘前市医師会	看護師養成所における教育内容の向上を図るための体制整備事業	青森県以外の他都道府県で開催される講習会を受講し、質の高い看護教員を養成することで今後懸念される看護職員不足への対応と青森県が進める短命兼返上に向けた取り組みを、授業を通じて看護学生への指導が充実できると共に、更にその目的に近づけるよう受講期間中の不在教員の対応として代替え看護教員を確保することと、看護学生の教育環境を整える事業を行う。(研修受講料、人件費)	反映する (継続)	「看護教員養成講習会参加支援事業」で実施しており、継続事業として計画案に反映する。
	15	県看護協会	【新規】 認定看護師のネットワーク構築への支援事業	①認定看護師のネットワークの基盤づくり ②既認定看護師への特定行為研修受講勧奨 地区会議、交流会、全体会議、研修会の開催	反映しない	既存事業の(看護協会の)財源振替であり、計画案に反映しない。
	16	県看護協会	【新規】 新人看護職員離職防止及び定着促進事業	①新人看護職の集い(カフェ) 新人看護職と養成機関の教職員とのカフェを実施し、就業継続を阻む要因等のテーマで本音で話し合う場を設け、望むサポートなどを導き出す。 ②看護管理者と看護職養成機関との情報交換会 ①の取り組みを基に情報交換会を行い、新人看護職確保・定着や離職防止に有用な対策を検討する。 ③新人看護職の離職理由の把握 実際の退職者に対するアンケート調査を実施	反映する (新規)	県内の新人看護職員の離職率は上昇しており、対策を講じることが急務とされていることから、計画案に反映する。



区分	No.	提案機関	事業名	事業概要	計画(案)への反映	
					反映状況	判断理由
Ⅲ	17	県歯科衛生士会	青森県歯科衛生士復職支援事業 (歯科衛生士復職支援研修)	就業希望の歯科衛生士に対して、最近の歯科医療の知識及び技術を習得してもらい再就職に不安を抱える歯科衛生士に職場復帰を容易にするための復職支援セミナーを広報、周知し、実施する。内容としては、2日間9:00～15:00コースで講義と実習。講義内容(案)としては、①歯と口の健康づくりに関する最新情報(オーラルフレイル予防・全身疾患と歯科との関わり等)②最近の歯科事情(歯科臨床における感染予防対策・医療安全、歯科診療報酬の最近の動向等)の90分1単位×2。実習(案)は、③超音波スケーリングとPMTc・④⑤有病者の口腔ケア(スタンダードブリコーション・医療面接・バイタルチェック・検査値データの見方・口腔衛生管理、口腔機能管理の実際・急変時の対応等)・⑥診療の補助(TEK作成等)90分1単位×3	反映する (継続)	復職希望者への研修事業は、資格を持ちながらも就業していない歯科衛生士を現場復帰させるための事業であり、歯科衛生士確保に繋がるものと期待されることから、計画案に反映する。
	18	弘前市	地域救急医療学講座開設事業 (寄附講座)	救急医療提供体制の維持・充実を図り、二次救急医療の輪番体制の維持や救急研修医の確保に寄与することを目的とした寄附講座「地域救急医療学講座」を開設します。  ◆開設先:弘前大学大学院医学研究科 ◆内 容:研修医に対する救急医療の実施研修、救急医療体制に関する指導・助言、救急医療支援体制の構築などの研究・教育に取り組む。	趣旨を反映する (継続)	自治体病院等の機能再編成として整備する中核病院において必要となる救急医療の機能を確保する取組として、計画案に反映する。